

身体知・経験知の分析と学習の支援

本大会のテーマは「多様化する教育・学習工学とそれを支える基盤技術 ～形式知から経験知・身体知，そして創造性の開発へ～」です。そこで，このサブタイトルの「形式知から経験知・身体知，そして創造性の開発へ」についての考えを深める場として，この公開フォーラムを企画したいと思います。教育支援や学習支援をPCを利用して行う研究が始まった当初は，PC上で正解や解法を記述しやすい形式知の学習方法を中心として研究が進みました。一方，内容を記号で記述しにくい経験知や身体知は，当初はあまり研究がなされていませんでした。しかし，20世紀の終わりごろから，各種センサーの小型化と低価格化が進み，経験知や身体知の計測が次第に容易になってきました。さらに，ハードディスクなどの記憶媒体の大容量化と低価格化により，計測したデータを容易に保存できるようになりました。そして，マルチメディアの発達や，CG，VR，ARなどの各種技術と，それを提示する各種提示装置の発達により，保存したデータを学習者に可視化して再生したり，あるいは，視覚以外の感覚情報で提示することも可能となってきました。したがって，経験知や身体知をセンシング，保存，提示する環境が整ったために，これらを学習支援の対象とする研究が本学会は言うに及ばず，関連学会でも，近年，盛んに行われています。

経験知や身体知は，形式知に比べ，万人が言語で知識を共有することが難しいという特徴があります。しかし，それをある適切な抽象度で言語化を試みたり，あるいは，前述したような言語以外のメディアを用いて取り扱うなど，さまざまな研究のアプローチが考えられます。そこで，このフォーラムでは，経験知や身体知の分析と学習の支援の研究に精力的に取り組まれておられる方々をお招きし，ご自身の研究のアプローチと概要をお話しいただき，経験知と身体知の学習支援を考えるうえでの足掛かりとしたいと思います。

フォーラムコーディネータ

曾我 真人（和歌山大学）

プレゼンター

松浦 健二（徳島大学）

真嶋 由貴恵（大阪府立大学）

松田 憲幸（和歌山大学）